

仙台六大学野球 あす開幕

6校 頂点争う

仙台六大学野球春季リーグ(仙台六大学野球連盟、東北放送、河北新報社主催)は11日、仙台市の東北福祉大球場で開幕する。5月24日までの7節にわたり、2回戦総当たりの勝ち点制で6校が頂点を争う。

試合開始は第1試合が午前10時、第2試合が午後0時半で、1試合のみの場合は午前10時から。11日は第1試合前に開会式を行う。

優勝チームは6月8〜14日、東京・神宮球場と東京ドームで開かれる全日本大学野球選手権に出場する。

- ▷11日 福祉大―宮教大 学院大―工 大
- ▷12日 工 大―学院大 宮教大―福祉大
- ▷18日 仙台大―宮教大 東北大―工 大
- ▷19日 工 大―東北大 宮教大―仙台大
- ▷25日 福祉大―東北大 学院大―仙台大
- ▷26日 仙台大―学院大 東北大―福祉大
- ▷5月2日 福祉大―仙台大 学院大―東北大
- ▷3日 工 大―宮教大 仙台大―福祉大
- ▷4日 東北大―学院大 宮教大―工 大
- ▷9日 福祉大―工 大 学院大―宮教大
- ▷10日 宮教大―学院大 工 大―福祉大
- ▷16日 仙台大―工 大 東北大―宮教大
- ▷17日 工 大―仙台大 福祉大―学院大
- ▷23日 仙台大―東北大 学院大―福祉大
- ▷24日 東北大―仙台大 学院大―福祉大

春季リーグ日程

チーム紹介①

仙台大

部長	江尻 雅彦 (仙台大)			
監督	森本 吉謙 (筑波大)			
投手	小野 寛人②	175	80	右左 (東京・帝京)
	菊地 脩斗④	176	82	右左 (栃木・作新学院)
	今野 一成③	169	85	右左 (宮城・古川学園)
	大城 海翔③	168	70	左左 (滋賀学園)
	田中 稜真②	178	78	右右 (北海道・旭川実)
	石井 晴翔②	175	87	左左 (埼玉・昌平)
捕手	前田 夢翔④	177	83	右右 (山形・鶴岡東)
	◎井尻 琉斗④	170	83	右右 (北海道・北海)
	岡 広翔③	175	84	右右 (栃木・鳥山)
	小野寺 心②	175	80	右右 (栃木・白鷺大足利)
	日下 心②	174	80	右右 (山形・鶴岡東)
内野	新保 玖和③	177	71	右右 (茨城・霞ヶ浦)
	谷口 壘③	169	71	右右 (北海道・北照)
	石川 太陽③	167	80	右左 (群馬・前橋育英)
	今北 孝晟③	176	79	右左 (北海道・北海)
	広川 稜太④	174	76	右右 (北海道・旭川大高)
	笹島 夕聖②	169	71	右左 (福井工大福井)
	篠原 結人③	170	70	右左 (茨城・常磐大高)
	服部 泰河③	173	75	右右 (福島商)
外野	木村 翔平②	187	97	右右 (山梨・日本航空)
	木村 俊喜③	180	68	右右 (茨城・常磐大高)
	斎藤 陽③	166	74	右左 (仙台育英)
	内藤 侑弥④	174	75	右右 (静岡・常葉大菊川)
	熊谷 禅②	173	72	右左 (仙台育英)
	今野 悠貴③	173	73	右右 (宮城・東陵)

V奪還へ一丸で挑む

昨季は7年ぶりに3位へ転落し、今年のドラフト1位候補と目されていた主戦佐藤は、今冬に米留学。多難な船出にも井尻主将は「学年は関係なく、指摘し合える雰囲気が出てきた。一丸となって戦う」。目標は3季ぶりの頂点だ。

投手陣を支えるのは左右の二枚看板。森本監督が「全てがハイレベル」と評する3年生左腕大城は140キロ台中盤の直球に切れがあり、変化球の制球も良い。4年生右腕菊地は右肘の靭帯(じんたい)再建手術(通称トミー・ジョン手術)から昨秋復帰し、調子上げる。直球は最速150キロ前半。変化球との緩急で打者のタイミングを外す。

野手は経験豊富な選手がそろそろ。入学当初からメンバードラフト入りに入っている3年生今北は長打力があり、昨秋は打率3割1分6厘。昨年12月の日本代表候補合宿に招集された遊撃手の3年生新保は守備に安定感がある。逆方向への強い打球を飛ばせるようになり、打力も向上してきた。

50人超の新入生が入り、新戦力の台頭にも期待がかかる。森本監督は「毎試合を決勝戦と思って戦ってほしい。一勝一勝積み上げ、優勝を目指す」と語る。

宮教大

部長	黒川 修行 (東北大院)			
監督	高橋 顕法 (仙台育英高)			
投手	山田悠太郎③	184	82	左左 (宮城・東北学院)
	近藤 竜毅③	190	90	右右 (仙台三)
	泉 陽泰③	176	70	右左 (青森・三本木)
	小林 倅士②	180	80	右右 (秋田・横手)
捕手	吉田 颯良④	175	76	右右 (岩手・盛岡三)
	千葉虎太郎②	170	80	右右 (宮城・石巻)
内野	◎千葉 終弥④	174	76	右左 (仙台三)
	古川 慎旺④	160	74	右左 (宮城・泉館山)
	芳賀 智也④	172	66	右右 (宮城・東北学院榴ヶ岡)
	橋本 拓樹③	175	80	右左 (岩手・盛岡三)
	藤田 倅成②	180	75	右右 (青森・三本木)
	五十嵐 蓮太郎②	175	68	右右 (山形・米沢興譲館)
外野	大川口 颯月④	187	78	右右 (宮城・東北学院)
	金 颯太④	179	70	右右 (岩手・盛岡三)
	磯谷 僚太郎③	167	78	右右 (仙台)
	宮原 健輔③	175	77	右右 (宮城・泉)
	寺崎 海靖③	170	73	右右 (仙台南)
	荻原 清志郎②	184	81	右右 (宮城・泉)

全員野球 まずは1勝

2022年秋以来の勝利と最下位脱出を目指す。高橋監督は「今季も厳しい戦力に変わりはなく、全員で協力しながら戦って、まずは1勝したい」と意気込む。

投手陣は昨年登板を重ねた左腕山田と、近藤、泉の両右腕の3年生トリオが活躍できるかがポイントだ。右手に違和感を抱える近藤の早期復帰が、善戦するには不可欠だろう。

引退したエース野口がコーチとして残り、チームを全面的にもり立てる。

野手陣は24年秋に宮教大の捕手として11年ぶりのベストナインに輝いた。た主将金沢が引退した。攻守の軸の穴をどう埋めるかも鍵となる。

打撃面で金沢の後継候補となりそうなのが、長打力を持ち味の橋本。昨秋の第1節第2日の東北学院大戦では満塁弾を放った。腰痛の不安がある中、実力を出し切れるか注目だ。

新主将の千葉は戦況に心じた打撃で、チャンスメーカーとして機能したい。

高橋監督は「ウオーミングアップやキャッチボールなどの基本をおろそかにせず、チームの規律を重視している。東北大・工大に勝利したい」と力を込めた。

[注] 部長、監督名の後は出身校。選手名の後は順に学年、身長(㍎)、体重(㍑)、投打、出身校。◎は主将

6校主将が意気込みを語る動画はこちら

